

子どもの読書の未来を考える交流会

2023.11.29

～子どもはどうやって大好きな本と出会うのか？～

町田の図書館活動をすすめる会



### 次第

14:00 オープニング 講師紹介

14:05 講演 草谷桂子さん

15:05 休憩(10分) 紹介本や後方の展示・参考資料などをご覧ください

15:15 グループワーク グループに分かれて、子どもの読書をめぐる意見交換

16:05 全体交流 まとめ

閉会のあいさつ(16:40 終了)

## 講演「子どもの読書を支える」

草谷桂子

### ◎ 自己紹介

- ・家庭文庫トモエ文庫主宰・おとなのための朗読会主宰(月1回)・読み聞かせボランティア
- ・図書館の支援活動・童話、エッセイ、子どもの本の紹介等の執筆活動

### ◎ 文庫を始めたわけ

- ・本と人をつなぎたい
- ・家庭でも学校でもない第3の評価しない場として
- ・本からも実体験からも多様なモデルに出会うように
- ・子どもたちにひとつでも楽しい思い出を
- ・わが子の幸せは地域の子どもの幸せがあつてこそ
- ・社会と関わっていたい
- ・童話を書く上で、頭の中でなく実際の子どもの悩みや喜びを知ったり感じたりしたい
- ・子ども時代の体験への恩返し

## ◎ 子どもの本の魅力とは？

- ・子どもを楽しませ、くつろがせる
- ・子どもが最初に出会う文学・芸術
- ・未来に希望が持てる
- ・最も短い文と絵とで語る
- ・絵本と読み手から自然に愛情が子どもに伝わる
- ・ふさわしい時にふさわしい絵本がある
- ・生きるために必要なこと全てが入っている
- ・大人には大人の、子どもには子どもの見方、楽しみ方がある
- ・時代と社会を映す鏡。どんな本がその時代に出版されたか・・・どんな本でも歴史の証人となる
- ・多様なモデルに出会える

～どこでも誰もが絵本に出あえるためには

身近に本のある環境(図書館)があり、手渡す大人がいることが大切～

## ◎ 絵本は子どもの成長にどんな影響を及ぼすか？

すぐに効果を求めない。心に緑の種をまくこと。

『心に緑の種をまく』～絵本の楽しみ～ 渡辺茂男 著 (新潮社 1997年)より抜粋

「絵本には 人間が人間であるために一番大事な情緒と想像力と知恵が 一番分かりやすく一番使いやすい形で込められています。絵本を読んであげたからといってすぐに成果が目に見えるものではなく、幼い心に種をまく仕事だからです。幼い心がパソコンのキーボードで塞がれたり コンクリートで固められたりする前に自分の手で緑の種を蒔いてあげてください。」



『絵本・物語る喜び』 松居直 著 (福武文庫 1990年)より抜粋

「例えば、文章の一節、挿絵の一部分、1冊の絵本の作り出す物語世界の雰囲気、驚き、悲しみ、喜び、おそれ、共感と言った小さな種が心に残り、それが長い年月の間に、様々な体験や思索を通して芽ばえ、形を変えて発展し成長するのです。」



### 【その事例】

『夜あけ朝あけ』 住井すゑ 著 新潮文庫

『すてきな三にんぐみ』 トミー・アンゲラー 作 いまえよしとも 訳 偕成社

『てぶくろ』 エウゲーニー・M・ラチョフ／うちだりさこ 訳 福音館書店



『わすれものの森』 岡田淳・浦川良治 作 BL出版

『税金で買った本』 ずいの 原作 系山岡 漫画講 談社

◎ わたしと子どもたちの絵本体験

☆「ことば」(感情)を獲得する

『あかいりんご』 なかのひろたか 作・絵 福音館書店

☆等身大の自分に出会う

『おふろだいすき』 松岡享子さく 林明子え 福音館書店

☆自分を客観的に見ることができる

『わたし』 谷川俊太郎 文 長新太 絵 福音館書店

☆他者の気持ちになれる

『アリからみると』 桑原隆一 文 栗林慧 写真 福音館書店

☆時代をみせてもらう

『モチモチの木』 斎藤隆介 作 滝平二郎 絵 岩崎書店

『いけのおと』『くさはらどん』 松岡達英さく 福音館書店

『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやまけん・もりひさし・わだよしおみ 作 こぐま社

☆身の回りの自然の美しさや科学の面白さに気付く

『木の実とともだち』 松岡達英 構成 下田智美 絵・文 偕成社

☆昔話は庶民の知恵の宝庫

『おんちよろきょう』『さるじぞうほいほい』『へっこきあねさ』『えすがたによぼう』など

◎ 文庫のこどもたちが書いたポスター

「本は心の栄養」「トモエ文庫でなかよくしよう」「絵本を読んで夢の国へ」

◎ 石井桃子さんのメッセージ

「こどもたちよ。子ども時代をしっかりと楽しんでください。大人になってから、老人になってから、あなたを支えてくれるのは、子ども時代のあなたです」

◎ 終わりの言葉



## 参考に・・・いま(この時代)子どもといっしょによみたいと思っている絵本

- ① 『ともだちのいろ』 きくちちき作・絵 小峰書店 『いろいろかえる』 きくちちき作 偕成社
- ② 『てをつなぐ』 鈴木まもる作 金の星社
- ③ 『ぼくらのサブウェイ・ベイビー』 マキューリオ作 エスピノーサ絵 北丸雄二訳 サウザンブックス社
- ④ 『へいわとせんそう』 たにかわしゅんたろう ぶん noritake え ブロンズ新社



- ⑤ 『ぼくがラーメンたべてるとき』 長谷川義史作・絵 教育画劇
- ⑥ 『戦争で死んだ兵士のこと』 小泉吉宏作 ベネッセ（現在KADOKAWAから刊行）
- ⑦ 『せかいいちうつくしいぼくの村』 小林豊作・小林豊絵 ポプラ社
- ⑧ 『ピースブック』 トッド・パール作 堀尾輝久訳 童心社



- ⑨ 『この本をかくして』 ワイルド文 ブラックウッド絵 アーサー・ビナード訳 岩崎書店
- ⑩ 『子どもの本で平和をつくる』 キャシー・ステインソン作 マリー・ラフランス絵 さくまゆみこ訳 小学館
- ⑪ 『はなのすきなうし』 マンロー・リーフ文 ロバート・ローソン絵 光吉夏弥訳 岩波書店
- ⑫ 『おおきいかさ』 エイミー・ジューン・ベイツ&ジュニパー・ベイツ作 野坂悦子訳 化学同人



### 「町田の図書館活動をすすめる会」

図書館や本に関わる市民と町田市の職員組合が協力し、図書館、学校図書館などをより良くしようと願って活動している会です。(1984年創立)

地域文庫、読書や語りのボランティア活動も応援しています。文化と教育は将来に向けて大事にしていきたい宝です。町田の図書館のこと、文化・教育のことを一緒に考える仲間になってください。町田市外の方も歓迎！ 入会の申込み、お問い合わせは下記へお願いいたします。

\*e-mail: [susumerukai1984@gmail.com](mailto:susumerukai1984@gmail.com)

当会ウェブサイトへアクセス⇒

\*090-1863-5174 (鈴木)

